

学校運営協議会議事録

日 時		令和 7 年 7 月 16 日 (水) 10 時 30 分 ～ 12 時 30 分		
場 所		西浦公民館		
出席者	委員等	19名		
	学 校	7名		
	市教委	2名		
協議事項		(1) 熟議「西浦地区が抱える課題について」		
協議要旨		意見の概要	協議の結果	—
		①熟議「あいさつ」による多世代の交流をめざして ～大人が安心して声をかけたり、積極的に挨拶したりするため「みまもり登下校」に参加しやすい環境を整えるために統一の何かがあれば。地域と学校が連携してできる「対応策」を話し合う。～ ・学校内での指導の充実 学校教育として、あいさつの意味や必要性を教える。縦割り活動や学年間の交流を通して、子ども同士で自然とあいさつできる雰囲気をつくる。 ・家庭でのあいさつ習慣の推進 学校・地域だけでなく、家庭でも親子でのあいさつを大切にしよう呼びかけ。 ・地域との接点の再構築 かつて「あいさつしないように」と伝える資料があったこともあり、地域でのあいさつが減少している。子どもが街で自然にあいさつできるよう、「誰にでもあいさつしよう」といった指導に転換すべき。 ・大人がきっかけを作る 子どもがあいさつしやすくなるように、まず大人が声をかける。地域の見守り活動で子どもとの関係性を築き、顔見知りの関係を広げる。 ・目印・ニックネームの活用 オレンジベストのような目印、ニックネームの表示などで「声をかけてもよい大人」であることを可視化する工夫。 ・イベントを通じた交流 公民館活動や地域の祭りを活用し、子どもと地域の大人が知り合いになる機会をつくる。		
		②熟議「子どもたちの運動の機会の創出、部活動の地域展開を見据え、休日の部活動を教職員と地域の方が連携して実施すること」について ～西浦学園の部活動はバスケ、卓球、吹奏楽の予定。市の部活動指針では「令和8年度の夏を目標に、土日の部活動を実施しない方向」が示されている。平日の部活動は継続、夏季大会は学校単位での出場。西浦地区としては休日の部活動を教職員と地域の方が協力して行う体制を整えていきたい。「意見や問題点」を話し合う。～		

協議要旨	意見の概要	・運動機会の確保 スポーツ団体への所属に限らず、すべての子どもに運動する場を提供すべき。町内の空きグラウンドや地域資源を活用して、授業や行事で運動の機会を増やす。 ・部活動の地域展開 土日の活動や平日放課後の利用など、時間的柔軟性をもたせて部活動を実施。地域クラブへの参加や、中学生の社会クラブへの参加を促す。 ・指導者確保の課題 技術的責任を負う指導者の確保は困難。見守り的な立場に関わる地域住民の活用を模索。 ・近隣との連携 人数の少ない学校単独では種目も限られるため、近隣校（例：形原中など）との合同運営も検討。会場・種目の共有による可能性拡大を目指す。 ・生徒主体の参加 強制ではなく、自主的な参加を基本とし、子どもが自分に合った活動を選べるよう配慮する。	協議の結果	—
	意見の概要	③熟議「きじっ子の森」の活用・管理について ～八王子神社と運動場に挟まれ、教職員だけで管理できないほどの荒地となっている「きじっ子の森」の活用目的・方法・環境整備後の管理方法について「意見や問題点」を話し合う。～ ・森の価値と課題 PTA等の尽力で整備された森だが、現在は管理が行き届かず利用が難しい。過去の活動（自然観察、体験学習など）の記憶があり、再活用を望む声は多い。 ・安全確保と整備 安全確保のためには大規模な整備が必要であり、専門的な知見も求められる。地域の力だけで管理を継続するのは難しい。 ・新たな活用方法の模索 完全に森として維持するのが難しいなら、避難経路や学習スペースとしての活用も視野に。畑は残すべきという意見も。 ・子ども参加型の整備・運用 子ども自身の意見を取り入れた森の活用を検討し、教育活動との接続を図る。	協議の結果	—
その他 意見交換等	【西浦小学校長講評】 ・挨拶は地域をつなぐ第一歩。学校・家庭・地域が役割を分担し、継続的に取り組むことが重要。 ・形原地域など近隣との連携は、防犯や育成の観点からも有効。 ・「きじっ子の森」については、今回の意見を参考に学校で精査し、地域・行政にも働きかける。 ・子どもたち自身の意見も尊重し、将来に向けた取り組みを地域全体で進めたい。 【CS研究協力アドバイザーからの指導助言】 ○世代間価値観の違いの理解が必要。 ○議題の背景情報の共有が必要。 ①挨拶の意義 「多世代交流」との混在により議論が分散した面があり、挨拶を通じて子どもがどのように成長するか、大人・家庭への働きかけがどうあるべきかを明確にする必要がある。また、子どもの挨拶に対する意識の把握も必要である。 ②部活動の地域展開 今後確実に「学校外」の活動へと移行していくため、行政が方向性を明示し、地域との意見交換を行うべきであると指摘。スポーツ庁からの事例集も参考にすべき。 ③「きじっ子の森」の活用と管理 目的を共有し、その上で地域・行政と連携して活用方針を検討する必要がある。			
協議資料				
備考	傍聴者 [1] 名 CSアドバイザー			